

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
 本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	Comparative study of histomorphological changes of mucus traits and E-cadherin expression rate in early gastric cancer 早期胃癌浸潤部位における粘液形質の組織形態学的変化とE-cadherin発現率に関する後ろ向き研究			
2. 対象患者	2010年1月1日から2019年12月31日までに、弘前大学消化器外科で胃切除術が行われた患者105例を対象とします。			
3. 対象となる期間	2010年1月1日 ~ 2019年12月31日			
4. 実施診療科等	病理生命科学講座・消化器外科学講座			
5. 研究責任者	氏名	赤石 隆信	所属	病理生命科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	ありません			
7. 研究の意義	胃癌は多様な病理像を呈することが多く、同じタイプの癌であっても粘液特性の違いを示すなど病態の多様性が注目されており、なかには悪性度の高い早期胃癌なども含まれております。そこで早期胃癌における粘液特性の変化や腫瘍の進展に深くかかわる細胞接着因子(E-cadherin)との関係性を解明することで、胃癌の治療戦略への貢献が可能になります。			
8. 研究の目的	早期胃癌の進展・発達に伴う粘液特性の変化に着目し、E-cadherinの増減や癌の進行度に関わる脈管侵襲およびリンパ節転移との関係性を捉えることで、早期胃癌における浸潤メカニズムを解明することを目的としています。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	2010年1月から2019年12月までに弘前大学消化器外科で胃切除術が行われた早期胃癌患者105例の手術標本を使用します。また、電子カルテから得られた症例の臨床情報(臨床病期や予後情報)を使用します。解析には、胃癌の手術材料の病理標本に対して種々の染色を行い、画像解析ソフトウェアで解析を行います。			
10. 個人情報の保護	病理標本、画像情報、症例報告書は、いずれも患者様の個人情報とは無関係の本研究用の登録番号を付して管理を行い、秘密保護に十分配慮いたします。また、研究結果を公表する際には個人を特定できる情報を一切含まないよう配慮します。拒否の申し出があった場合は研究対象から除外し、データを削除します。ただし、既に研究結果公表済みの場合はデータを修正することはできませんので、ご了承下さい。			
11. 利益相反に関する状況	開示すべき利益相反関係にある企業・法人組織や営利を目的とした団体はありません。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科病理生命科学講座 助手 赤石 隆信			
	電話	0172-39-5029	FAX	0172-39-5030